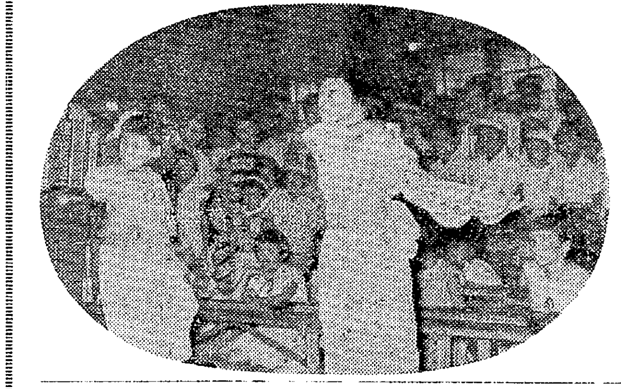
父ちゃんを一日慰問
繰込場で演奏や踊りなど

地域の各分会の整備がすすむにつれて、分会内の児童部の整備も着々とすすみ、昨年あたりから児童部の活躍も目立つてきた。発育途中にあるこの世代が人生の中でも人間づくりの大きな基礎になつている。去る二十六日には緑ガ丘椅分会のよい子たち六十名が、三川鉱の繰込場で笛、木琴、ハーモニカで入昇坑のお父さんお兄さんたちを慰問し、好評を博した。

この日坂本分会長に引率されたよい子たち男女六十名と、同じく坑口の花慰問に訪れた主婦六名は午後一時ごろ繰込場へ進出して、ここで各自が持つてきた楽器でちようど一番方のおじさんたちの昇坑と二番方の入坑のおじさんたちにご苦労様と約一時間にわたつて楽しい音楽の贈物をやつた。まずハーモニカで「天然の美」の独奏をやり、男子のハーモニカ、女子の木琴と笛の合奏になる「みなと」「村のカジヤ」などを披露した。

この合間に独唱、合唱舞踊、歌謡曲などがつぎつぎと行われ、一行を取まくキヤツプランプのおじさんたちは、入坑時間の迫つてくるのも忘れたように、拍手を送り、「うまいぞ」と励ましていた。このあと、三川鉱の坑外見学を行い、男子はお父さんや兄さんが坑内での仕事の垢を落す大浴場に入浴、大きな湯ぶねにつかつて大喜びだつた。

なお、椅のよい子たちはこの夏休みには、さきに港務所も見学して社会科の勉強を行つている。



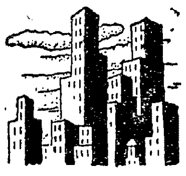
楽しい野外教育

こんどの夏休みには各分会の児童部でもそれぞれのプランを立てて社会科勉強のための工場見学や、団体訓練や共同生活を身につけようとキヤンプなどを行つている。このため、三川支部や港務支部では地域からくる児童部のよい子たちを案内し説明するのに大童である。野添児童部では舟小屋へレクレーションを行いスケツチ大会や水浴などで夏休みの間に大いに身体を鍛えて新学期に備えた。銀水児童部や岩津でも舟小屋行きを行い大いに楽しんだ。敷島などでも工場見学を行つている。このように殆んどの分会がスケツチやキヤンプ、海水浴などでこの夏休みを有効に送つている。

また、レクレーションとは別にこの夏休みには学習の方もウンと力を入れようとこの方面の勉強も忘れられておらず、とくにさいきん椅、西原やその他二、三の分会でも地域新聞とタイアツプして子供新聞を発行しており、自分たちばかり集つて企画を立て編集を行つているところもある。

この児童部について地域のお母さんは

Aさん　児童部ができ、子供が部員となりましてから、仲々親の言うこともよく聞くようになり児童部の行事などを通じて以前とはガラリと変つたようになり大変喜んでいます。こういうことは各分会でもよく育ててつくり上げて貰いたいと親の立場から望んでいます。



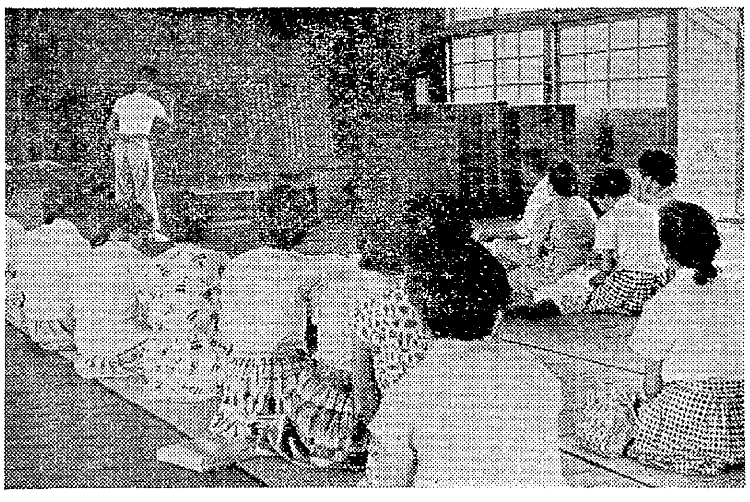
三川鉱見学
六年　前川幸恵

八月十一日、私達は野田分会長さん地域役員の小父さん達につれられ、待望の三川鉱と三池港の見学をすることになりました。

三池港や三川鉱については学校で先生からお話しでは聞いていたが、実際を見るのは始めてで皆んな元気一杯にこにこ顔でした。約三十分ばかりで三川鉱に着き、風呂場や、その他各所の設備を見ました。風呂場では湯つぼがいくつもあり皆んなびつくりしていましたが、深さが三六〇米余り、しかも海の下の石炭をほつているとのお話で私達はおどろくとともに海の水が坑内に入るようなことはないだろうかと、何だか心配になりました。三川坑は海底を掘るために新しく開坑されたものだそうで三池三坑中（宮浦、四山、三川）でも一番新しく昭和十二年に着工され、昭和十五年の十月から出炭を始め、昭和二十六年には長い歴史を持つ万田坑を合併して、現在では出炭量においても働く人の数においても三池で一番大きく、この三川坑だけでも外の大きな炭鉱にくらべて負けないだけのものをもつているそうです。今から坑内に入つていかれるのでしょう、頭に電燈をつけた「おじさん」達が二、三人笑いながら何か話しをしておられました。

三川坑の見学を終つて、私達はいよいよ港へ行きました。さすがに港内は波も静かで今日はあまり大きな船は見当らず、港は日曜日のせいでもあるのでしょう、静かです。水門その他の港の設備を見学しましたが、楽しんでいた船内見学のできなかつたことはほんとうに残念でした。昨日までは大きな船が入港していたそうですが今日は出港して見当らず、あきらめるより仕方がありませんでした。

港についておじさん達のお話しに私達はおどろいたり感心したり私達にとつてはほんとうに楽しい一日でした。はじめて目で見る炭鉱や港の設備は一つ一つが物珍らしく参考になるものばかりで、ほんとうに勉強になつたと思います



緑ガ丘圧倒的に進出
荒尾市民体育祭終る

恒例の荒尾市民体育祭は、今年も八月十一日より二十五日まで荒尾二小、二中、四山などの各競技場で開催されたが、緑ガ丘、万田など団体競技で三鉱労組、主婦会の各チームは終始競技をリードし優勝の栄冠を獲得している。この体育祭は市教育委員会、市体育協会主催で市民の体位向上とスポーツの普及、市民の融和を目的として終戦後昭和二十一年から始められ、今年は第十二回の大会である。

三鉱労組が整備、躍進するにつれてこの大会に続々と出場、緑ガ丘校区社宅チームは男子ソフトボールで連続三回の大勝を喫しており一般市民から目を見張られている。競技種目は女子バレー、女子ソフトボール、男子ソフトボール、剣道、弓道、野球、卓球、庭球、柔道、陸上競技の多種目に亘つて行われた。

二十五日二小グラウンドでの陸上競技を最後に全種目が終了したが各種目の総合得点はつぎの如し。

一位緑ガ丘（三〇・五）　二位四小（二三・〇）　三位二小（一八・五）　四位中央（一四・〇）　五位やはた（一二・五）　六位平井（一二・〇）　七位有明（六・五）　八位三小（五・五）　九位一小（四・〇）　十位満里（三・五）　十一位府本（一・〇）

以上の通りで緑ガ丘が見事優勝した。これらは日ごろの組織の日常活動の賜といえるが、各選手や関係者の努力を忘れてはならないだろう。

敢斗の太田氏

なお、陸競の見ものとしては兼行選手（四山）の五千米、川口選手（四山）の三千米の三鉱長距離陣の活躍で、独走に等しい有様は市民の賞讃の的だつた。好成績としては、四十五才以上の太田房吉氏（緑ガ丘桂町）の走高跳で一米六〇を記録し、県でも優勝を目されている。二十五才以下の一位の小山選手（有明）の記録が一米五八であることを思えば熊本県の体育競技での同氏の活躍が期待されている。

昨年の陸上の優勝チームは一位が有明で府本、平井の順で農村部のものであつたが、今年は緑ガ丘、四小など三鉱労組関係の圧倒的な進出には関係者も三鉱労組が対市民との交流に熱意を示した結果だとみているのである。

また団体種目優勝はつぎの通り。女子バレー（緑ガ丘）　女子ソフトボール（緑ガ丘）　男子ソフトボール（緑ガ丘）　剣道（万田）

今年の体育祭について市教育長の深埠了由氏はつぎのように語つた

三鉱関係の方がさいきん市民の諸行事に積極的に参加され、私たちとしては働く人々の成長というように理解して喜んでいます。今度のスポーツ祭でも緑ガ丘をはじめ、各社宅の人たちが積極的に多数参加され、すぐれた成績を収めたことは普段の組合活動での団体訓練が一般生活などで成果を挙げている具体的な現れの一つかと思われます。こんごあらゆる問題で、労組関係の方が市民との融和を目的として善意ある接触を期待します

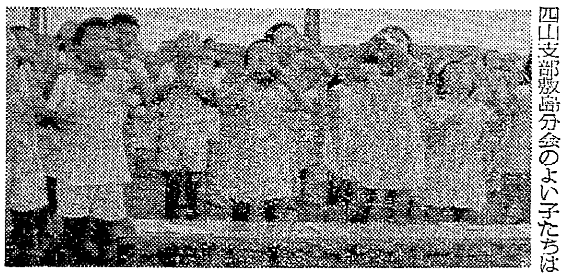
恐しいけい肺病
各地区で懇談会開く

三川支部厚生部では炭鉱労働者をむしばむけい肺から組合員を守ろうと去る七月の中旬から八月下旬にかけて各地区単位にけい肺懇談会を行つているが、懇談会に参加した組合員、主婦の間に大変好評を博している。

この懇談会は主婦会の主催で行つているのを、支部厚生部が協力して行つているのだが、有働厚生部長から「けい肺」とはどういうものかとまずけい肺についての知識が説明され、この後に労災法上ではどういう取扱いになつているか例えばけい肺保護法との関連、会社と組合が結んでいるけい肺協定書の取扱い、健康保険法との関係厚生年金との関係等、けい肺と法令をもうらして詳しく説明した。

けい肺の恐しさはよく聞かされているものの、まだバク然としか実感を感じない主婦も多く、この説明を聞き、いかにけい肺というものが恐しいかをはじめて知り、多くの主婦たちがけい肺にたいする見聞を大いに博めていつた。

この後厚生部長を囲んでいろいろと法的に渕らないことや、症状一般についての質問を行い、終了しているが、各地区とも保育園を会場として、懇談会を行つている。



ウガイ励行へ
成果を挙げた習慣

四山支部敷島分会のよい子たちは今年の夏休みに入るや雨の日を除いて、毎朝元気よくラジオ体操をつづけて丈夫な身体をつくつている。すでに先号に紹介したようにこのラジオ体操のときに、全員がウガイ薬を持参して、ラジオ体操とともにウガイの励行を行つて大いに効果を挙げている。

もうすぐ夏休みもさようならしなければならなくなつた。よく学びよく遊んだおかげでみんな元気にはち切れそうにしている。

おかげで、いまではウガイの癖がすつかり身についてしまい。ウガイをしないと両親に注意するほどによい子たちは育つていつた。ラジオ体操が終つても、このウガイだけはこんご年中続けて行こうとみんなは意気ごんでいる。

愉快に唐津キャンプ
本所の研究会員が遠出

台風一過からりと晴れた夏空のもと、唐津海岸で本所支部の研究会員を混えた五〇名は八月二十四日二十五日の両日に亘りキヤンプを行つた。

これは昨年来の企画で、学習活動を一日一日と続けて行くなかで一年に一度位のレクレーションをやり会員相互の融和をはかり、また明日への限りなき闘争の糧にしようと、みんなで申し合せたのが今度のキヤンプ行きとなつたものです。

二十四日午後一時徂林公園をバスで出発〃若者よ〃〃お牧場はみどり〃等々の歌声を車体一ぱいにふくらませ、佐賀路を残暑ものかわと走り、午後五時半唐津海岸虹の松原の目的地に到着。直ちに設営を全員でやり、楽しい夕食も素裸になつて終え、砂地で天にとどけのキヤンプファイヤー。それを囲んで手をつなぎ歌をうたい、フォークダンス、獣劇に興じキヤンプの床についたのが十二時過ぎであつた。

翌日も見事な晴天、絶好の海水浴日和に全員六時に起床し、味噌汁の大鍋を囲んで朝食をとり食後の団らんで早くも笑いのうず。今日一日の楽しさが予想される。そのご浜で混成二〇人一チームの珍ソフトボール、またバレーに時間が経つたのを忘れる。終つて海に飛び込み果敢なプレー珍プレー続出の水球、二人三脚リレー、ボートレースで終り、午後一時中食の後キヤンプサイド附近の清掃をやり午後三時カツキリ歌声を乗せたバスは大牟田に向つた。（本所発）

泥棒ノイローゼ
狙われた勝立社宅

最近、各地でコソ泥が急に増えて広く注意が望まれているが、宮浦支部勝立地区にもヒンピンとしてコソ泥が横行して分会員も被害にあつている。

とくに勝立地区の中でも宮前、紅葉ガ丘、通松、東谷などがいままで狙われており、この分会の人たちの中には泥棒ノイローゼにかかりそうだと悲鳴をあげている。噂によるとこれはどうも六人組らしいそうで、一棟の中の一家がやられていると同じ棟の他の二、三軒も被害をうけているというのが特徴である。

とくに残暑のきびしさからか、夜就寝のとき、余り暑いので玄関の戸や裏の窓などを不用心に明け放しているところが狙われているので、少々暑くても必ず戸や窓をしめて油断をみせぬようにと望まれている。なお、いままで泥公が入つたのは夜中の一、二時ごろだと推定されている。

「くもと子供の遊び」　佳作　三川　馬場清二
キヤノン　F2,8　50分の1　ネオパンSS

地域だより

○八月十七日午前九時より日本棋院荒尾支部主催で第三期炭鉱部本因坊戦は大牟田・荒尾両市より三段以上十五名が参加し行われた。兼行五段（大牟田、三池ゴムKK）は見事三期連続優勝をとげた。

○九月十五日三鉱川柳大会開く。

○九月二十一日より三日間九州歌ごえ大会を福岡市体育館で開く